

先住民村落における宗教対立と都市の変容

ーメキシコ・チアパスの事例ー

講師：清水 透（慶應義塾大学経済学部教授）

要旨：

1970年代よりラテンアメリカ各地では、ペンテコステ派を中心とするプロテスタントの浸透が活発化し、宗教的・社会的対立が表面化しつつある。メキシコ最南端の州チアパスの先住民村落もその例にもれず、1970年代初頭よりプロテスタント改宗者と「伝統派」との対立が顕在化するが、その対立は、各村落の枠組みを超えて、長年にわたり先住民村落と都市との関係を規定してきた植民地的秩序にも根本的な変容を迫りつつある。

講師紹介：

1943年松本市生れ。東京外国語大学・独協大学・フェリス女学院大学教授を歴任。99年4月より慶應義塾大学経済学部教授。ラテンアメリカ社会史担当。1979年以来、メキシコのマヤ系先住民のチャムーラ村での現地調査を繰り返しつつ、一家族4世代の聞き取り作業を中心にオーラル・ヒストリーの研究をつづけている。主要著書・論文に『コーラを聖なる水に変えた人々』（1984年、現代企画室）、『エル・チチョンの怒り』（1988年、東京大学出版会、2005年重版）、「フィールドワークと歴史学」（『歴史学研究』2006年2月号）、「離村インディオの流入と都市エスニシティの変容」（倉沢愛子編『都市下層の生活構造と移動ネットワーク』2007年、明石書店）、「メキシコ・アクテアルにおける虐殺」（松村高夫・矢野久編『大虐殺の社会史』2007年、ミネルヴァ書房）等がある。

日時：2009年3月17日（火） 15：00から17：00

会場：大阪大学中之島センター 7階 講義室3（参加無料）

お問い合わせ先：

大阪大学大学院人間科学研究科

グローバルCOE事務局

e-mail: gcoejimu@hus.osaka-u.ac.jp

電話: 06-6879-4046

染田 秀藤

大阪大学大学院人間科学研究科 地域研究講座

電話: 072-730-5422